

2023	年度								
教科	学年	教科書	下	教科書ページ	配当時数	配当月			
算数	1	東書	①	3	14	4	5		

大単元(題材名)	1. なかまづくりと かず		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分	A 数と計算		
関連する道徳の内容項目			

【到達目標】

知・技	○ 観点を決めて、仲間集めができる。
	○ 同じ集合でも、観点を変えると異なった分類ができることがあることがわかる。
	○ ものの個数の多少を、1対1対応によって比較することができる。
	○ 直接操作がしにくいものの個数の多少を、操作しやすいものに置き換えて、1対1対応によって比較することができる。
	○ 1から10までの数について、数の唱え方や数え方を理解し、正しく数えることができる。
	○ 1から10までの数について、数字の読み方やかき方を理解し、読んだり書いたりすることができる。
	○ 0の意味や表し方を理解し、用いることができる。
	○ 0から10までの数の系列や大小がわかる。
	○ 5から10までの数を2つに分解することができる。
	○ 5から10までの数を2つの数の和として捉え、5から10までの数の構成を理解することができる。
思・判・表	○ 集合を考えると、どのような観点の集合にするかを考えることができる。
	○ 直接操作がしにくいものの個数の多少を比較する方法を考えることができる。
	○ 1から10までのものの集まりの多少や数の大小を、数字によって捉えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 示された観点や自分で決めた観点をもとに、仲間分けをしようとする。
	○ いろいろなものの個数の多少を1対1対応のしかたを工夫して比較しようとする。
	○ 具体物－数図・ブロック－数字の関係から、数概念の理解を深めようとする。
	○ 5から10までの数を2つの数に分解し、順序よく並べたときの規則性をみつけようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 観点を決めて、仲間集めをしている。	A(1)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)(ク)
	○ 同じ集合でも、観点を変えると異なった分類ができることがあることを理解している。	A(1)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)(ク)
	○ ものの個数の多少を、比べる対象どうしを線で結ぶ1対1対応によって比較している。	A(1)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)(ク)
	○ ものの個数の多少を、半具体物に置き換えて、1対1対応によって比較している。	A(1)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)(ク)
	○ 1から10までの数について、数の唱え方、数え方、読み方、書き方を理解している。	A(1)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)(ク)
	○ 1つもないことを0と書き表すことを理解している。	A(1)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)(ク)
	○ 1から10までのものの数の多少や、数の大小を理解している。	A(1)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)(ク)
	○ 0から10までの数の系列を理解している。	A(1)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)(ク)
	○ 5から10を2つの数に分解している。	A(1)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)(ク)
思・判・表	○ 集合を考えると、どのような観点の集合にするかを考えている。	A(1)イ(ア)
	○ 直接操作がしにくいものの個数の多少を比較する方法を考えている。	A(1)イ(ア)
	○ 1から10までのものの数の多少や、数の大小を数字で捉えている。	A(1)イ(ア)
主体的に学習に取り組む態度	○ 示された観点や自分で決めた観点をもとに、仲間分けをしている。	
	○ いろいろなものの個数の多少を1対1対応のしかたを工夫して比較している。	
	○ 具体物－数図・ブロック－数字を線で結んで数を捉えている。	
	○ 5から10までの数を2つの数に分解し、順序よく並べている。	

【関連する既習内容】

学年	内容
	年
	年

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	数学的活動
1. たりかな	1	○ ものの個数の多少を、1対1対応によって比較する。また、数量の同じ、多少の意味を考える。	(1)ア
		・ ものの個数の多少を、線で結んだり、半具体物に置き換えたりして、1対1対応によって比較する。	
2. おなじかずの なかまを さがす	2	○ 1から5までの数の唱え方や数え方、数字の読み方や書き方を理解する。	(1)ア
3. 5は いくつと いくつ	1	○ 5を2つの数に分解し、2つの数の和として捉え、5の数の構成を理解する。	(1)ア
4. おなじかずの なかまを さがす	2	○ 6から10までの数の唱え方や数え方、数字の読み方や書き方を理解する。	(1)ア
5. 6は いくつと いくつ	1	○ 6を2つの数に分解し、2つの数の和として捉えたり、数を構成的にみて、ものの数を数えたりして、6の数の構成を理解する。	(1)ア, イ
6. 7は いくつと いくつ	1	○ 7を2つの数に分解し、2つの数の和として捉えたり、数を構成的にみて、ものの数を数えたりして、7の数の構成を理解する。	(1)ア, イ
7. 8は いくつと いくつ	1	○ 8を2つの数に分解し、2つの数の和として捉えたり、数を構成的にみて、ものの数を数えたりして、8の数の構成を理解する。	(1)ア, イ
8. 9は いくつと いくつ	1	○ 9を2つの数に分解し、2つの数の和として捉えたり、数を構成的にみて、ものの数を数えたりして、9の数の構成を理解する。	(1)ア, イ
9. 10は いくつと いくつ①	1	○ 10の補数を考えたり、10を2つの数に分解し、2つの数の和として捉えたりして、10の数の構成を理解する。	(1)ア
9. 10は いくつと いくつ②	1	○ 10の補数を言ったり、10の合成やものの数を数えたりして、10の構成の理解を深める。	(1)ア, イ
9. 10は いくつと いくつ③	1	○ 1から10までの数の大小比較や、数字を順番に並べる。	(1)ウ
10. 0 という かず	1	○ 1つもないことを0と書き表すことを理解する。	(1)イ

2023	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
算数	1	東書	①	36	2	5	5

大単元(題材名)	2. なんばんめ	
中単元(曲名)		
主領域／領域／内容の区分	A 数と計算 B 図形	
関連する道徳の内容項目		

【到達目標】

知・技	○ 前から○番め，上から○番め，左から○番めなどのように，ものの位置を順序数を用いて表すことができる。
	○ 順序数と集合数の意味の違いがわかり，正しく用いることができる。
思・判・表	○ 順序数と集合数の意味の違いを考えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 順序や位置を表すのに，日常生活で進んで数を用いようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ □□は，前から何番めの位置にいるかを指摘している。	A(1)ア(イ)，B(1)ア(ウ)
	○ □□は，後ろから何番めの位置にいるかを指摘している。	A(1)ア(イ)，B(1)ア(ウ)
	○ △△は，上から何番めの位置にいるかを指摘している。	A(1)ア(イ)，B(1)ア(ウ)
	○ ××は，左から何番めの位置にいるかを指摘している。	A(1)ア(イ)，B(1)ア(ウ)
	○ 順序数と集合数の意味の違いがわかり，順序数にあたる部分に色を塗ったり，線で囲んだりする。	A(1)ア(イ)，B(1)ア(ウ)
	○ 順序数と集合数の意味の違いがわかり，集合数にあたる部分に色を塗ったり，線で囲んだりする。	A(1)ア(イ)，B(1)ア(ウ)
思・判・表	○ 順序数と集合数の意味の違いを考え，数を用いて順序や位置を表現している。	A(1)イ(ア)
主体的に学習に取り組む態度	○ 整列したときなど，自分の位置を順序数を使って表している。	

【関連する既習内容】

学年	内容
1	年 なかまづくりとかず
	年

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	数学的活動
なんばんめ①	1	○ 数は順序を表す際にも用いられることを知り，前後に関わる順序を数で表す。 ・ 順序数と集合数の違いを理解して，適用問題や教室にあるものなどで練習する。	(1)ア
なんばんめ②	1	○ 上下，左右に関わる順序や位置を数で表す。	(1)ア

2023	年度						
教科	学年	教科書	上 教科書ページ	配当時数	配当月		
算数	1	東書	② 2 ~ 12	8	5	~ 6	

大単元(題材名)	3. あわせて いくつ ふえと いくつ		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分	A 数と計算		
関連する道徳の内容項目			

【到達目標】

知・技	○ 合併の場面，増加の場面について，加法の意味を理解することができる。
	○ しき，たしざんの用語を知り，正しく用いることができる。
	○ 合併の場面，増加の場面を加法の式に表すことができる。
	○ 和が10以下の加法の計算方法を理解し，計算することができる。
	○ 0を含む加法について，式の意味や計算方法について理解し，計算することができる。
思・判・表	○ 加法が用いられる場面について，その関係を式に表して答えを求めることができる。
	○ 和が10以下の加法の適用問題を解いたり，お話をつくりたりすることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 日常の事象から合併や増加の場面を捉え，進んで加法を用いようとする。
	○ 加法のお話をつくらうとしている。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 合併の場面について，加法の意味と式の表し方を理解している。	A(1)ア(エ)，A(2)ア(ア)(イ)(ウ)
	○ しき，たしざんの用語を知り，正しく用いている。	A(1)ア(エ)，A(2)ア(ア)(イ)(ウ)
	○ 増加の場面について，加法の意味と式の表し方を理解している。	A(1)ア(エ)，A(2)ア(ア)(イ)(ウ)
	○ 和が10以下の加法の計算方法を理解している。	A(1)ア(エ)，A(2)ア(ア)(イ)(ウ)
	○ 和が10以下の加法の計算をしている。	A(1)ア(エ)，A(2)ア(ア)(イ)(ウ)
	○ 和が10以下の加法計算を習熟するために，計算カードを使って練習している。	A(1)ア(エ)，A(2)ア(ア)(イ)(ウ)
	○ 0を含む加法の式の意味や計算方法を理解している。	A(1)ア(エ)，A(2)ア(ア)(イ)(ウ)
	○ 0を含む加法の計算をしている。	A(1)ア(エ)，A(2)ア(ア)(イ)(ウ)
思・判・表	○ 問題文から合併の場面を捉え，加法の式に表して答えを求めている。	A(2)イ(ア)
	○ 問題文から増加の場面を捉え，加法の式に表して答えを求めている。	A(2)イ(ア)
	○ 式と絵を用いて，加法のお話をつくらうとしている。	A(2)イ(ア)
主体的に学習に取り組む態度	○ ブロックなどの操作活動を通して，合併や増加の意味を考え，説明している。	
	○ 日常の事象から合併や増加の場面を捉え，進んで加法を用いている。	

【関連する既習内容】

学年	内容
1	年 なかまづくりとかず
	年

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	数学的活動
1. あわせる①	1	○ 合併の場面で，加法の意味がわかり，加法の式に表す。 ・ しき，たしざんの用語を知る。	(1)イ
1. あわせる②	1	○ 合併の場面の絵を見て，加法の式を書いて答えを求める。	(1)イ
2. ふえる①	1	○ 増加の場面で，加法の意味がわかり，加法の式に表す。	(1)イ
2. ふえる②	1	○ 問題文から増加の場面を捉え，加法の式に表して答えを求める。 ・ 答えが10までの加法計算の練習をする。	(1)イ
2. ふえる③	1	○ 加法の計算カードを使って計算練習をする。また，答えが同じカードを集め，順序よく並べる。	(1)ウ
3. 0の たしざん	1	○ 0を含む加法の式の意味を知り，立式して計算する。また，0を含む加法計算をする。	(1)イ
4. おはなしづくり	1	○ 加法の式と絵を見て，合併や増加のお話をつくる。 ・ $4+3$ の式になるお話をつくる。お話づくりを通して，加法の理解を深める。	(1)イ
まとめ	1	○ 「あわせて いくつ ふえると いくつ」の基本的な学習内容を理解しているかを確認し，それに習熟する。	

2023	年度						
教科	学年	教科書	上	教科書ページ	配当時数	配当月	
算数	1	東書	②	14	9	6	6

大単元(題材名)	4. のこりは いくつ ちがいは いくつ		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分	A 数と計算		
関連する道徳の内容項目			

【到達目標】

知・技	○ 求残の場面，求補の場面，求差の場面について，減法の意味を理解することができる。
	○ ひきさんの用語を知り，正しく用いることができる。
	○ 求残の場面，求補の場面，求差の場面を減法の式に表すことができる。
	○ 10以下の数から1位数をひく減法の計算方法を理解し，計算することができる。
	○ 0を含む減法について，式の意味や計算方法について理解し，計算することができる。
思・判・表	○ 減法が用いられる場面について，その関係を式に表して答えを求めることができる。
	○ 10以下の数から1位数をひく減法の適用問題を解いたり，お話をつくりすることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 日常の事象から求残や求補，求差の場面を捉え，進んで減法を用いようとしている。
	○ 減法のお話をつくらうとしている。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 求残の場面について，減法の意味と式の表し方を理解している。	A(1)ア(エ)，A(2)ア(ア)(イ)(ウ)
	○ ひきさんの用語を知り，正しく用いている。	A(1)ア(エ)，A(2)ア(ア)(イ)(ウ)
	○ 10以下の数から1位数をひく減法の計算方法を理解している。	A(1)ア(エ)，A(2)ア(ア)(イ)(ウ)
	○ 10以下の数から1位数をひく減法の計算をしている。	A(1)ア(エ)，A(2)ア(ア)(イ)(ウ)
	○ 求補の場面について，減法の意味と式の表し方を理解している。	A(1)ア(エ)，A(2)ア(ア)(イ)(ウ)
	○ 0を含む減法の式の意味や計算方法を理解し，計算している。	A(1)ア(エ)，A(2)ア(ア)(イ)(ウ)
	○ 求差の場面について，減法の意味と式の表し方を理解している。	A(1)ア(エ)，A(2)ア(ア)(イ)(ウ)
	○ 10以下の数から1位数をひく減法計算を習熟するために，計算カードを使って練習している。	A(1)ア(エ)，A(2)ア(ア)(イ)(ウ)
思・判・表	○ 問題文から求残の場面を捉え，減法の式に表して答えを求めている。	A(2)イ(ア)
	○ 問題文から求補の場面を捉え，減法の式に表して答えを求めている。	A(2)イ(ア)
	○ 問題文から求差の場面を捉え，減法の式に表して答えを求めている。	A(2)イ(ア)
	○ 式と絵を用いて，減法のお話をつくっている。	A(2)イ(ア)
主体的に学習に取り組む態度	○ ブロックなどの操作活動を通して，求残や求補，求差の意味を考え，説明している。	
	○ 日常の事象から求残や求補，求差の場面を捉え，進んで減法を用いている。	

【関連する既習内容】

学年	内容
1	年 なかまづくりとかず
1	年 あわせていくつ ふえるといくつ

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	数学的活動
1. へる①	1	○ 求残の場面で、減法の意味がわかり、減法の式に表す。 ・ ひきさんの用語を知る。	(1)イ
1. へる②	1	○ 求残の場面の絵を見て、減法の式を書いて答えを求める。 ・ 減法計算の練習をする。	(1)イ
1. へる③	1	○ 求補の場面で、減法の意味がわかり、減法の式に表して答えを求める。	(1)イ
1. へる④	1	○ 減法の計算カードを使って計算練習をする。また、答えが同じカードを集め、順序よく並べる。	(1)ウ
2. 0の ひきざん	1	○ 0を含む減法の式の意味を知り、立式して計算する。	(1)イ
3. ちがい①	1	○ 求差の場面で、減法の意味がわかり、減法の式に表し、答えを求める。	(1)イ
3. ちがい②	1	○ 問題文と絵から求差の場面を捉え、減法の式に表して答えを求める。	(1)イ
4. おはなしづくり	1	○ 減法の式と絵を見て、求残や求差、求補のお話をつくる。 ・ $6-4$ の式になるお話をつくる。お話づくりを通して、減法の理解を深める。	(1)イ
まとめ	1	○ 「のこりはいくつ ちがいはいくつ」の基本的な学習内容を理解しているかを確認し、それに習熟する。	

2023	年度						
教科	学年	教科書	上	教科書ページ	配当時数	配当月	
算数	1	東書	②	26	5	7	7

大単元(題材名)	5. どちらが ながい		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分	C 測定		
関連する道徳の内容項目			

【到達目標】

知・技	○ 直接比較により，長さを比較することができる。
	○ 間接比較により，長さを比較することができる。
	○ 任意単位を用いることにより，長さが数値化できることを知り，長さを比較することができる。
思・判・表	○ 長さの比べ方を考えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 身の回りにあるものの長さに関心を持ち，いろいろな方法で工夫して比べようとする。
	○ 長さを数値で表すことのよさに気づき，日常生活で進んで用いようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 長さの意味がわかり，直接比較によって長さを比較している。	C(1)ア(ア)(イ)
	○ 媒介物を用いて，長さを間接比較する方法を理解し，長さを比較している。	C(1)ア(ア)(イ)
	○ 任意の長さを単位にして，そのいくつかで長さを表し，長さを比較している。	C(1)ア(ア)(イ)
思・判・表	○ 長さの比べ方を考えている。	C(1)イ(ア)
主体的に学習に取り組む態度	○ 身の回りにあるものの長さに関心を持ち，いろいろな比べ方を友だちと話し合っている。	
	○ 長さを数値で表すことのよさに気づき，進んで用いている。	

【関連する既習内容】

学年	内容
	年
	年

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	数学的活動
どちらが ながい①	1	○ 長さの意味がわかり，直接比較によって長さを比較し，直接比較できないときの間接比較について考える。	(1)イ
どちらが ながい②	1	○ 直接比較の方法や間接比較の方法についてまとめる。	(1)イ
		・ 長さの直接比較は，端をそろえること，曲がっているものはまっすぐ伸ばすことをおさえる。	
どちらが ながい③	1	○ 媒介物を用いて，長さを間接比較する方法を理解し，長さを比較する。	(1)イ
		・ 身の回りの長さを，紙テープに写し取り並べて比較する。	
どちらが ながい④	2	○ 任意の長さを単位にして，そのいくつかで長さを表し，長さを比較する。	(1)イ
		・ 手や鉛筆などの任意単位を使うと，長さを数で比較できることを理解する。	
		・ 電車の長さを車両の数や方眼のますの数を単位として，そのいくつかで表せることとそのよさがわかり，任意単位による長さの比較の理解を深める。	

2023	年度								
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月			
算数	1	東書	②	32	~ 34	2	9	~ 9	

大単元(題材名)	6. わかりやすく せいりしよう		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分	D データの活用		
関連する道徳の内容項目			

【到達目標】

知・技	○ ものの個数を，絵を用いて簡単なグラフに表すことができる。
	○ 絵グラフに表したもののから，数が最も多いところや少ないところなどの特徴を読み取ることができる。
	○ ものの個数を比べるには，ものの大小にかかわらず，数を横にそろえれば比べやすいことがわかる。
思・判・表	○ どのような絵グラフにすれば，ものの個数を比べやすくなるかを考えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ ものの個数を表すのに，進んで絵グラフを用いようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ ものの個数を，絵を用いて簡単なグラフに表している。	A(1)ア(ア)(イ)(ク)，D(1)ア(ア)
	○ 絵グラフから，数が最も多いところや少ないところなどの特徴を読み取っている。	A(1)ア(ア)(イ)(ク)，D(1)ア(ア)
	○ ものの個数を比べるには，大きさをそろえて並べれば比べやすくなることを理解している。	A(1)ア(ア)(イ)(ク)，D(1)ア(ア)
思・判・表	○ どのような絵グラフにすれば，ものの個数を比べやすくなるかを考えている。	A(1)イ(ア)，D(1)イ(ア)
主体的に学習に取り組む態度	○ ものの個数を表すのに，進んで絵グラフに表し，ものの個数の多少を比べている。	

【関連する既習内容】

学年	内容
1	年 なかまづくりとかず
	年

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	数学的活動
わかりやすく せいりしよう①	1	○ ものの個数を，絵を用いて簡単なグラフに表したり，読み取ったりする。	(1)イ，エ
		・ ものの個数に合わせて，絵グラフに色を塗る。	
わかりやすく せいりしよう②	1	○ 簡単な絵グラフから，データの個数の特徴を読み取る。	(1)イ，エ

2023	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
算数	1	東書	②	36	9	9	9

大単元(題材名)	7. 10より おおきい かず		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分	A 数と計算		
関連する道徳の内容項目			

【到達目標】

知・技	○ 10をひとまとまりにして数えるよさに気づき，20までの数を10といくつと捉えることができる。
	○ 2とび，5とびの数え方がわかる。
	○ 10より大きい数について，順序よく並べることができる。
	○ 10より大きい数について，数直線をもとに，数の大小，系列がわかる。
	○ 20より大きい数について，数え方，読み方，書き方がわかる。
	○ 簡単な場合について，2位数と1位数の加法，減法の計算をすることができる。
思・判・表	○ 簡単な場合について，2位数と1位数の加法，減法のしかたを考慮することができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 数の大きさについて，数をいろいろな表し方で表そうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 20までの数について，10とあといくつという見方で数えることよいことを理解している。	A(1)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)(キ)(ク)，A(2)ア(エ)
	○ 11から20までの数を読んだり，表したりしている。	A(1)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)(キ)(ク)，A(2)ア(エ)
	○ 20までの数の構成の理解を深め，その順序，系列を理解している。	A(1)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)(キ)(ク)，A(2)ア(エ)
	○ 2とび，5とびで数えるよさを理解し，数えている。	A(1)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)(キ)(ク)，A(2)ア(エ)
	○ 20までの数直線の読み方を理解し，20までの数の大小を比較している。	A(1)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)(キ)(ク)，A(2)ア(エ)
	○ 20から40までの数を読んだり，表したりしている。	A(1)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)(キ)(ク)，A(2)ア(エ)
	○ 簡単な場合について，2位数と1位数の加法の計算をしている。	A(1)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)(キ)(ク)，A(2)ア(エ)
	○ 簡単な場合について，2位数と1位数の減法の計算をしている。	A(1)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)(キ)(ク)，A(2)ア(エ)
思・判・表	○ 簡単な場合について，2位数と1位数の加法の計算のしかたを考えている。	A(1)イ(ア)，A(2)イ(ア)
	○ 簡単な場合について，2位数と1位数の減法の計算のしかたを考えている。	A(1)イ(ア)，A(2)イ(ア)
主体的に学習に取り組む態度	○ 20までの数を，いろいろな表し方で表している。	
	○ 40より大きい数について，友だちと話し合っている。	

【関連する既習内容】

学年	内容
1	年 なかまづくりとかず
1	年 あわせていくつ ふえるといくつ
1	年 のごりはいくつ ちがいはいくつ

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	数学的活動
1. 10より おおきい かず①	1	○ 20までの数について，10とあといくつという見方で数えることよいことを知り，11から20までの数を数えたり，読んだりする。	(1)ア，イ
1. 10より おおきい かず②	1	○ 20までの数の構成について理解し，10から20までの数を読んだり，書いたりする。	(1)イ
1. 10より おおきい かず③	1	○ 20までの数について工夫して数えたり，20までの数の順序数について考えたりする。	(1)イ
1. 10より おおきい かず④	1	○ 20までの数の分解について理解する。 ・ ブロック操作などをして数を表す。	(1)ウ
1. 10より おおきい かず⑤	2	○ 20までの数直線の読み方を理解し，20までの数の大小や数系列を理解する。 ・ 数直線は，右にいくと数が大きくなることを知る。	(1)ウ
2. かずとしき①	1	○ 数の構成をもとに，10+(1位数)，(10いくつ)−(1位数)の計算のしかたを考える。	(1)ウ
2. かずとしき②	1	○ くり上がり，くり下がりのない(10いくつ)+(1位数)，(10いくつ)−(1位数)の計算をする。	(1)ウ
3. 20より おおきい かず	1	○ 20から40までの数の数え方，読み方，書き方を理解する。	(1)イ

2023

年度

教科

算数

学年

1

教科書

東書

上

下

教科書ページ

②

48

～

49

配当時数

1

配当月

9

～

9

大単元(題材名)	8. なんじ なんじはん	
中単元(曲名)		
主領域／領域／内容の区分	C 測定	
関連する道徳の内容項目		

【到達目標】

知・技	○ 時計を見て、何時、何時半の時刻を読み取ることができる。
	○ 示された時刻の何時、何時半になるように時計の長針、短針を合わせることができる。
思・判・表	○ 何時、何時半の時刻と長針、短針の位置との対応を考えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 毎日の生活を通して、生活と時刻の関連に関心をもち、時刻を読もうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 時計を見て、何時、何時半の時刻を読み取っている。	C(2)ア(ア)
	○ 示された時刻の何時、何時半になるように時計の長針、短針を合わせている。	C(2)ア(ア)
思・判・表	○ 何時、何時半の時刻と長針、短針が運動していることを考えている。	C(2)イ(ア)
主体的に学習に取り組む態度	○ 毎日の生活を通して、生活と時刻の関連に関心をもち、教室の時計を見て、何時、何時半の時刻を読んでいる。	

【関連する既習内容】

学年	内容
1	年 10よりおおきかず
	年

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	数学的活動
なんじ なんじはん	1	○ 時計の短針と長針を見て、何時、何時半の時刻を読んだり、示された時刻に時計の長針と短針を合わせたりする。	(1)ア, イ
		・ 1日の生活場面の絵を見て、6時、10時、10時半、2時半の時刻を読み取る。	

2023

年度

教科

算数

学年

1

教科書

東書

上下

教科書ページ

②

51

～

54

配当時数

3

配当月

9

～

9

大単元(題材名)	9. 3つの かずの けいさん	
中単元(曲名)		
主領域／領域／内容の区分	A 数と計算	
関連する道徳の内容項目		

【到達目標】

知・技	○ 具体的な場面に即して、数量の関係を3口の数の加法、減法、加減混合の式に表す方法がわかる。
	○ 3口の数の加法、減法、加減混合の計算のしかたがわかる。
	○ 3口の数の加法、減法、加減混合の計算ができる。
思・判・表	○ 既習の加法や減法の考えを適用して、数量の関係を、3口の加法、減法、加減混合の式に表すことができる。
	○ 3口の数の計算を使って、適用問題を解くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 具体的な場面に即して、数量の関係を3口の数の加法、減法、加減混合の計算を日常生活に生かそうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 続いて起こる事柄を、3口の数の加法の式に表せることを理解している。	A(1)ア(エ), A(2)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)
	○ 続いて起こる事柄を、3口の数の減法の式に表せることを理解している。	A(1)ア(エ), A(2)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)
	○ 続いて起こる事柄を、3口の数の加減混合の式に表せることを理解している。	A(1)ア(エ), A(2)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)
	○ 3口の数の加法の計算をしている。	A(1)ア(エ), A(2)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)
	○ 3口の数の減法の計算をしている。	A(1)ア(エ), A(2)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)
	○ 3口の数の加減混合の計算をしている。	A(1)ア(エ), A(2)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)
思・判・表	○ 続いて起こる事柄を、3口の数の加法の式に表している。	A(2)イ(ア)
	○ 続いて起こる事柄を、3口の数の減法の式に表している。	A(2)イ(ア)
	○ 続いて起こる事柄を、3口の数の加減混合の式に表している。	A(2)イ(ア)
	○ 3口の数の計算を使って、適用問題を解いている。	A(2)イ(ア)
主体的に学習に取り組む態度	○ 具体的な場面に即して、数量の関係を3口の数の加法、減法、加減混合の式に表すことに進んで取り組んでいる。	

【関連する既習内容】

学年	内容
1年	あわせていくつ ふえるといくつ
1年	のこりはいくつ ちがいはいくつ

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	数学的活動
3つの かずの けいさん①	1	○ 続いて起こる事柄を、3口の数の加法の式に表せることを理解し、結果を求める。 ・ バスにねこが3匹乗っていて、次のバス停で2匹乗り、また次のバス停で4匹乗るとねこはみんなで何匹になるかを1つの式に表す。	(1)ア
3つの かずの けいさん②	1	○ 続いて起こる事柄を、3口の数の減法の式に表せることを理解し、結果を求める。	(1)ア
3つの かずの けいさん③	1	○ 続いて起こる事柄を、3口の数の加減混合の式に表せることを理解し、計算のしかたを考える。 ・ 4口の数の加減計算をする。	(1)ア

2023

年度

教科

算数

学年

1

教科書

東書

上

下

教科書ページ

② 55

～

58

配当時数

4

配当月

9

～

9

大単元(題材名)	10. どちらが おおい	
中単元(曲名)		
主領域／領域／内容の区分	C 測定	
関連する道徳の内容項目		

【到達目標】

知・技	○ 直接比較，間接比較により，かさの大小を比較することができる。
	○ 任意単位を用いて数値化して，かさの大小を比較することができる。
思・判・表	○ かさの比べ方を考えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 身の回りにあるもののかさに関心をもち，いろいろな方法で工夫して比べようとする。
	○ かさを数値で表すことのよさに気づき，日常生活で進んで用いようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ かさの意味がわかり，直接比較によってかさを比較している。	C(1)ア(ア)(イ)
	○ 媒介物を用いて，かさを間接比較する方法を理解し，かさを比較している。	C(1)ア(ア)(イ)
	○ 任意のかさを単位にして，そのいくつかでかさを表し，かさを比較している。	C(1)ア(ア)(イ)
思・判・表	○ かさの比べ方を考えている。	C(1)イ(ア)
主体的に学習に取り組む態度	○ 身の回りにあるもののかさに関心をもち，いろいろな比べ方を探している。	
	○ かさを数値で表すことのよさに気づき，進んで用いている。	

【関連する既習内容】

学年	内容
1	年 どちらがながい
	年

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	数学的活動
どちらが おおい①	1	○ 直接比較により，2つの容器に入る水のかさの大小を比較する。	(1)イ
どちらが おおい②	1	○ 間接比較により，3つの容器に入る水のかさの大小を比較する。	(1)イ
どちらが おおい③	1	○ 任意単位を用いて数値化して，かさの大小を比較する。	(1)イ
		・ 任意単位によるかさの比較を知り，任意単位のいくつかで表せることとそのよさがわかる。	
どちらが おおい④	1	○ 任意単位を用いて，身の回りにあるものに入る水のかさの大小比較をする。	(1)イ

2023

年度

教科

学年

教科書

上下

教科書ページ

配当時数

配当月

算数

1

東書

②

60

～

69

10

10

～

10

大単元(題材名)	11. たしざん	
中単元(曲名)		
主領域／領域／内容の区分	A 数と計算	
関連する道徳の内容項目		

【到達目標】

知・技	○ 1位数と1位数をたして、和が11以上になる加法の計算原理や方法を理解し、正しく計算することができる。
	○ くり上がりのある1位数どうしの加法の計算カードを使って計算の練習をし、計算に習熟することができる。
思・判・表	○ 1位数と1位数をたして、和が11以上になる加法の計算方法を考えることができる。
	○ 1位数と1位数をたして、和が11以上になる加法の適用問題を解くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 1位数と1位数をたして、和が11以上になる加法の計算方法を考え、説明しようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ くり上がりのある(1位数)+(1位数)の計算方法を理解している。	A(1)ア(エ), A(2)ア(ア)(イ)(ウ)
	○ くり上がりのある(1位数)+(1位数)の計算をしている。	A(1)ア(エ), A(2)ア(ア)(イ)(ウ)
	○ 加法の計算カードを用いて計算練習をしている。	A(1)ア(エ), A(2)ア(ア)(イ)(ウ)
思・判・表	○ くり上がりのある(1位数)+(1位数)の計算方法を、10のまとまりをつくることに着目して考えている。	A(2)イ(ア)
	○ 1位数と1位数をたして、和が11以上になる加法の適用問題を解いている。	A(2)イ(ア)
主体的に学習に取り組む態度	○ 1位数と1位数をたして、和が11以上になる加法の計算方法を考え、友だちにわかりやすく説明する工夫をしている。	

【関連する既習内容】

学年	内容
1 年	あわせていくつ ふえるといくつ
1 年	10よりおおきい かず
1 年	3つの かずの けいさん

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	数学的活動
1. 9+4の けいさん①	2	○ 1位数と1位数をたして、和が11以上になる加法の計算のしかたを理解する。(加数分解)	(1)イ
		・ 場面から加法と考え、9+4と立式し、計算のしかたを考える。	
		・ ブロック操作や図を使って、計算のしかたを説明する。4を1と3に分ける。9に1をたして10。それに残りの3をたして13。	
1. 9+4の けいさん②	1	○ 1位数と1位数をたして、和が11以上になる被加数が8や7の場合の加法の計算のしかたを考える。(加数分解)	(1)ウ
1. 9+4の けいさん③	1	○ 被加数が6～9の場合の加法の計算練習をする。	(1)ウ
2. 3+9の けいさん①	1	○ 1位数と1位数をたして、和が11以上になる加法の計算のしかたを考える。(被加数分解)	(1)イ
		・ 3+9の計算のしかたを考え、被加数を分解して、10をつくって計算できることを理解する。	
2. 3+9の けいさん②	1	○ 計算しやすいしかたで、計算の練習問題や文章題に取り組む。	(1)ウ
かあどを つかって	3	○ くり上がるのある1位数どうしの加法の計算カードを用いて、計算に習熟する。	(1)ウ
		・ 問題を出し合ったり、答えが同じカードを集めたりなどする。	
まとめ	1	○ 「たしざん」の基本的な学習内容を理解しているかを確認し、それに習熟する。	

2023	年度						
教科	学年	教科書	上 教科書ページ	配当時数	配当月		
算数	1	東書	② 72 ~ 75	4	10	~	10

大単元(題材名)	12. かたちあそび		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分	B 図形		
関連する道徳の内容項目			

【到達目標】

知・技	○ いろいろな箱などを使って，いろいろな形を構成することができる。
	○ いろいろなものの形に着目して，基本的な立体図形の特徴がわかる。
	○ いろいろな立体の面を写し取り，絵をかく活動を通して，基本的な平面の特徴がわかる。
思・判・表	○ 立体図形について，形以外の属性を捨象して，立体図形の形の特徴を捉えることができる。
	○ 平面図形について，形以外の属性を捨象して，形の特徴を捉えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 身の回りにあるものの形について，観察したり構成を調べたりして，図形に親しもうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ いろいろな箱や缶などの立体を用いて，身の回りにある具体物をつくっている。	B(1)ア(ア)(イ)
	○ 立方体，直方体，円柱を積み上げるときの注意事項を指摘している。	B(1)ア(ア)(イ)
	○ 立方体，直方体，円柱，球の中で，ころがる形を指摘している。	B(1)ア(ア)(イ)
	○ 立方体，直方体，円柱，球の仲間集めを通して，立体図形の特徴を理解している。	B(1)ア(ア)(イ)
	○ 立体の面を紙に写し取り，立体図形の構成要素である平面図形の特徴を理解している。	B(1)ア(ア)(イ)
	○ 立体の面を紙に写し取り，絵をかいている。	B(1)ア(ア)(イ)
	○ ましかく，しかく，まるの特徴を理解している。	B(1)ア(ア)(イ)
思・判・表	○ 立体図形を手にもって触れることで，立体図形の特徴を捉えている。	B(1)イ(ア)
	○ 立体の面を写してかいた絵について，どんな形を使ってかいたかを説明している。	B(1)イ(ア)
	○ 形以外の属性を捨象して，形の特徴を捉えている。	B(1)イ(ア)
主体的に学習に取り組む態度	○ 身の回りにあるものの形について，観察したり触れたり，分解したりしている。	

【関連する既習内容】

学年	内容
	年
	年

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	数学的活動
1. かたちをつくろう	2	○ いろいろな立体で具体物をつくる活動を通して，ものの形を認めたり，形の特徴を捉えた	(1)ア
2. かたちのとくちようを まとめよ	1	○ 似ている形を集める仲間集めの活動を通して，立体の形の特徴を捉える。	(1)ア
		・ ボールの形(球)，さいころの形(立方体)，筒の形(円柱)，箱の形(直方体)に仲間分けして，その特徴を捉える。	
3. かたちを うつして えを かこう	1	○ 立体の面の形を写し取って絵をかく活動を通して，基本的な平面図形の特徴を捉える。	(1)ア

2023	年度						
教科	学年	教科書	上 教科書ページ	配当時数	配当月		
算数	1	東書	② 76 ~ 85	10	11 ~ 11		

大単元(題材名)	13. ひきざん	
中単元(曲名)		
主領域／領域／内容の区分	A 数と計算	
関連する道徳の内容項目		

【到達目標】

知・技	○ 10いくつから1位数をひいて、差が1 位数になる減法の計算原理や方法を理解し、正しく計算することができる。
	○ 10いくつから1位数をひいて、差が1 位数になる減法の計算カードを使って計算の練習をし、計算に習熟することができる。
思・判・表	○ 10いくつから1位数をひいて、差が1 位数になる減法の計算方法を考えることができる。
	○ 10いくつから1位数をひいて、差が1 位数になる減法の適用問題を解くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 10いくつから1位数をひいて、差が1 位数になる減法の計算方法を考え、説明しようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ くり下がりのある(10いくつ)－(1位数)の計算方法を理解している。	A(1)ア(エ), A(2)ア(ア)(イ)(ウ)
	○ くり下がりのある(10いくつ)－(1位数)の計算をしている。	A(1)ア(エ), A(2)ア(ア)(イ)(ウ)
	○ 減法の計算カードを用いて計算練習をしている。	A(1)ア(エ), A(2)ア(ア)(イ)(ウ)
思・判・表	○ くり下がりのある(10いくつ)－(1位数)の計算方法を、18までの数の構成に着目して1位数をひくことを考えている。	A(2)イ(ア)
	○ 10いくつから1位数をひいて、差が1 位数になる減法の適用問題を解いている。	A(2)イ(ア)
主体的に学習に取り組む態度	○ 10いくつから1位数をひいて、差が1 位数になる減法の計算方法を考え、友だちにわかりやすく説明する工夫をしている。	

【関連する既習内容】

学年	内容
1 年	のこりはいくつ ちがいはいくつ
1 年	10よりおおきい かず
1 年	3つの かずの けいさん

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	数学的活動
1. 13－9の けいさん①	2	○ 10いくつから1位数をひいて、差が1 位数になる減法の計算のしかたを理解する。(減加法)	(1)イ
		・ 場面から減法と考え、13－9と立式し、計算のしかたを考える。	
		・ ブロック操作や図を使って、計算のしかたを説明する。13を10と3に分ける。10から9をひいて1。1と3で、4。	
1. 13－9の けいさん②	1	○ 10いくつから1位数をひいて、差が1 位数になる減数が8や7の場合の減法の計算のしかたを考える。(減加法)	(1)ウ
1. 13－9の けいさん③	1	○ 減数が5～9の場合の減法の計算練習をする。	(1)ウ
2. 12－3の けいさん①	1	○ 10いくつから1位数をひいて、差が1 位数になる減法の計算のしかたを理解する。(減々法)	(1)イ
		・ 12－3の計算のしかたを考え、減数を分解して、3を2と1に分ける。12から2をひいて10。10から1をひいて9と計算できることを知る。	
2. 12－3の けいさん②	1	○ 計算しやすいしかたで、計算の練習問題や文章題に取り組む。	(1)ウ
かあどをつかって	3	○ 10いくつから1位数をひいて、差が1 位数になる減法の計算カードを用いて計算練習をする。	(1)ウ
		・ 問題を出し合ったり、答えが同じカードを集めたりなどする。	

まとめ	1	○ 「ひきざん」の基本的な学習内容を理解しているかを確認し、それに習熟する。	
-----	---	--	--

2023	年度								
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月			
算数	1	東書	②	91	~ 105	14	1	~ 1	

大単元(題材名)	14. おおきい かず		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分	A 数と計算		
関連する道徳の内容項目			

【到達目標】

知・技	○ 100までの数や簡単な3位数を数えたり，読んだり，表したりすることができる。
	○ 2位数について，各位の数字の意味や空位の0の意味がわかり，一のくらい，十のくらいの用語を正しく使うことができる。
	○ 100までの数や簡単な3位数について，順序，系列を理解し，大小を比較することができる。
	○ 和が100までの(何十)+(何十)の計算と，その逆の減法の計算原理を理解し，計算することができる。
	○ くり上がり，くり下がりのない2位数と1位数の加法と減法の計算原理を理解し，計算することができる。
思・判・表	○ 数表を使って100までの数を調べ，その特徴を説明することができる。
	○ 和が100までの(何十)+(何十)の計算と，その逆の減法の計算方法を考えることができる。
	○ くり上がり，くり下がりのない2位数と1位数の加法と減法の計算方法を考えることができる。
	○ 100までの数の加法や減法の適用問題を解くことができる。
	○ 2位数の1つの数について，いろいろな表し方を考えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 2位数をいろいろな表し方で考え，友だちの表し方を聞いて，自分の表し方を見直そうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 具体物の個数を10のまとまりをつかって数え，2位数の構成や表し方，読み方を理解している。	A(1)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)(カ)(キ)(ク)，A(2)ア(エ)
	○ 2位数の構成的な見方について理解している。	A(1)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)(カ)(キ)(ク)，A(2)ア(エ)
	○ 2位数について，各位の数字の意味や空位の0の意味を理解している。	A(1)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)(カ)(キ)(ク)，A(2)ア(エ)
	○ 一のくらい，十のくらいの用語を知り，正しく使っている。	A(1)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)(カ)(キ)(ク)，A(2)ア(エ)
	○ 100という数の構成や大きさ，読み方，表し方を理解している。	A(1)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)(カ)(キ)(ク)，A(2)ア(エ)
	○ 120程度までの3位数の読み方，表し方，順序，系列を理解している。	A(1)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)(カ)(キ)(ク)，A(2)ア(エ)
	○ 120程度までの数直線を見て，数の大小，系列などを理解している。	A(1)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)(カ)(キ)(ク)，A(2)ア(エ)
	○ 和が100までの(何十)+(何十)の計算と，その逆の減法の計算原理を理解し，計算している。	A(1)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)(カ)(キ)(ク)，A(2)ア(エ)
	○ くり上がり，くり下がりのない2位数と1位数の加法と減法の計算原理を理解し，計算している。	A(1)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)(カ)(キ)(ク)，A(2)ア(エ)
思・判・表	○ 数表を使って100までの数を調べ，その特徴を説明している。	A(1)イ(ア)，A(2)イ(ア)
	○ 和が100までの(何十)+(何十)の計算と，その逆の減法の計算方法を考えている。	A(1)イ(ア)，A(2)イ(ア)
	○ くり上がり，くり下がりのない2位数と1位数の加法と減法の計算方法を考えている。	A(1)イ(ア)，A(2)イ(ア)
	○ 100までの数の加法や減法の適用問題を解いている。	A(1)イ(ア)，A(2)イ(ア)
	○ 2位数の1つの数について，いろいろな表し方を考えている。	A(1)イ(ア)，A(2)イ(ア)
主体的に学習に取り組む態度	○ 2位数のいろいろな表し方について，友だちの表し方を聞いて，自分の表し方と似ている部分や違う部分を説明している。	

【関連する既習内容】

学年	内容
1	年 10よりおおきいかず
1	年 たしざん
1	年 ひきざん

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	数学的活動
1. おおきい かずを かぞえよう	2	○ 2位数の数え方, 読み方や, 構成や表し方を理解する。 ・ 位取り記数法を知る。	(1)イ
1. おおきい かずを かぞえよう ②	2	○ 卵やペンなどを数えたり, 印をつけて数えたりして, 2位数の数え方の理解を確実にする。	(1)イ
1. おおきい かずを かぞえよう	1	○ 2位数の構成的な見方について理解する。	(1)ウ
2. 99より おおきい かず	1	○ 100という数の構成や大きさ, 読み方, 表し方を理解する。	(1)イ
3. かずの ならびかた①	1	○ 数表を使って100までの数を調べ, 気づいたことを発表し合う。	(1)ウ
3. かずの ならびかた②	1	○ 数直線を見て, 100までの数の系列や大小を調べる。	(1)ウ
4. 100より おおきい かず	1	○ 120程度までの3位数の読み方, 表し方, 順序, 系列を理解する。	(1)イ
5. かずとしき①	1	○ (何十)+(1位数)の加法とその逆の減法の計算のしかたを考える。	(1)ウ
5. かずとしき②	1	○ くり上がりなしの(2位数)+(1位数)やくり下がりの(2位数)-(1位数)の計算をする。	(1)ウ
5. かずとしき③	1	○ 和が100までの(何十)+(何十)の計算と, その逆の減法の計算をする。	(1)イ
まとめ	2	○ 「いかしてみよう」で, 2位数についての理解を確認する。	(1)ウ

2023	年度						
教科	学年	教科書	上	教科書ページ		配当時数	配当月
算数	1	東書	②	106	～ 107	1	1 ～ 1

大単元(題材名)	15. どちらが ひろい		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分	C 測定		
関連する道徳の内容項目			

【到達目標】

知・技	○ 直接比較により，広さを比較することができる。
	○ 任意単位を用いることにより，広さが数値化できることを知り，広さを比較することができる。
思・判・表	○ 広さの比べ方を考えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 身の回りにあるものの広さに関心をもち，いろいろな方法で工夫して比べようとする。
	○ 広さを数値で表すことのよさに気づき，日常生活で進んで用いようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

【評価規準】		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 広さの意味がわかり、直接比較によって広さを比較している。	C(1)ア(ア)(イ)
	○ 広さは任意単位によって数値化して比較できることを知り、広さを比較している。	C(1)ア(ア)(イ)
思・判・表	○ 広さの比べ方を考えている。	C(1)イ(ア)
主体的に学習に取り組む態度	○ 身の回りにあるものの広さに関心をもち、いろいろな比べ方を友だちと話し合っている。	
	○ 広さを数値で表すことのよさに気づき、進んで用いている。	

【関連する既習内容】

学年		内容
1	年	どちらがながい
1	年	どちらがおおい

【学習活動】

[illegible]

2023

年度

教科

算数

学年

1

教科書

東書

上

下

教科書ページ

② 108

～

110

配当時数

2

配当月

2

～

2

大単元(題材名)	16. なんじなんぶん	
中単元(曲名)		
主領域／領域／内容の区分	C 測定	
関連する道徳の内容項目		

【到達目標】

知・技	○ 時計を見て、何時何分と1分単位で時刻を読み取ることができる。
	○ 示された時刻になるように時計の長針、短針を合わせることができる。
思・判・表	○ 何時何分の時刻と長針、短針の位置との関係を考えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 毎日の生活を通して、生活と時刻の関連に関心を持ち、時刻を読み、時刻を意識して生活しようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 時計を見て、何時何分と1分単位で時刻を読み取っている。	C(2)ア(ア)
	○ 示された時刻になるように時計の長針、短針を合わせている。	C(2)ア(ア)
思・判・表	○ 何時何分の時刻と長針、短針の位置との対応を考えている。	C(2)イ(ア)
主体的に学習に取り組む態度	○ 毎日の生活を通して、生活と時刻の関連に関心を持ち、教室の時計を見て、何時何分の時刻を読んでいる。	

【関連する既習内容】

学年	内容
1	年 なんじなんじはん
	年

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	数学的活動
なんじなんぶん①	1	○ 時計の短針と長針を見て、時刻を何時何分と1分単位で読む。また、生活とのつながりを理解する。	(1)ア, イ
なんじなんぶん②	1	○ 模型の時計を読んだり、示された時刻になるように針を正しい位置に合わせたりして、時刻の読みに習熟する。	(1)ア, イ

2023	年度								
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月			
算数	1	東書	②	112	~ 119	5	2	~ 2	

大単元(題材名)	17. たしざんと ひきざん		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分	A 数と計算		
関連する道徳の内容項目			

【到達目標】

知・技	○ 問題場面の構造を図に表すと、数量の関係を簡潔に捉えられることがわかる。
	○ 問題を解決する際、問題場面を図に表すことができる。
思・判・表	○ 図から加減の場面を捉え、立式して問題を解決することができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 問題場面の構造が捉えやすくなるように、進んで図に表そうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 順序数についての問題場面を図に表している。	A(2)ア(ア)(イ)
	○ 異種の量についての問題場面を図に表している。	A(2)ア(ア)(イ)
	○ 求大についての問題場面を図に表している。	A(2)ア(ア)(イ)
	○ 求小についての問題場面を図に表している。	A(2)ア(ア)(イ)
	○ 順番を表す集合数についての問題場面を図に表している。	A(2)ア(ア)(イ)
思・判・表	○ 順序数についての問題を図から立式し、解決している。	A(2)イ(ア)
	○ 異種の量についての問題を図から立式し、解決している。	A(2)イ(ア)
	○ 求大についての問題を図から立式し、解決している。	A(2)イ(ア)
	○ 求小についての問題を図から立式し、解決している。	A(2)イ(ア)
	○ 順番を表す集合数についての問題を図から立式し、解決している。	A(2)イ(ア)
主体的に学習に取り組む態度	○ 問題場面の構造を図に表すと、加減の場面が捉えやすくなるよさに気づき、進んで図に表している。	

【関連する既習内容】

学年	内容
1 年	なんばんめ
1 年	たしざん
1 年	ひきざん

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	数学的活動
1.たしざんと ひきざん①	1	○ 順序数について、加法や減法が適用できることを理解し、図に表して問題を解決する。	(1)イ, エ
1.たしざんと ひきざん②	1	○ 異種の量について、加法や減法が適用できることを理解し、図に表して問題を解決する。	(1)イ, エ
2.おい すくない①	1	○ 求大の場面を図に表し、加法を適用して問題を解決する。	(1)イ, エ
2.おい すくない②	1	○ 求小の場面を図に表し、減法を適用して問題を解決する。	(1)イ, エ
3.ずに かいて かんがえよう	1	○ 問題場面を図に表して構造を捉え、式や言葉を用いて考え方を説明する。	(1)イ, エ
		・ バス停で、そらさんの前に4人、そらさんの後ろに3人並んでいます。全部で何人並んでいるかを求める。	

2023

年度

教科

算数

学年

1

教科書

東書

上下

教科書ページ

②

120

～

124

配当時数

5

配当月

3

～

3

大単元(題材名)	18. かたちづくり	
中単元(曲名)		
主領域／領域／内容の区分	B 図形	
関連する道徳の内容項目		

【到達目標】

知・技	○ 色板や数え棒を使って、いろいろな形を構成することができる。
	○ 点と点を線でつないで、いろいろな形を構成することができる。
思・判・表	○ 色板を移動していろいろな形を構成したり、分解したりすることを考え、どのような操作をしたかを説明することができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 色板や数え棒を使ったり、点と点を線でつないだりする図形の構成活動を通して、自分のつくった形を説明しようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 色板を使って、いろいろな形をつくっている。	B(1)ア(ア)(イ)
	○ 数え棒を使って、いろいろな形をつくっている。	B(1)ア(ア)(イ)
	○ 点と点を線でつないで、いろいろな形をつくっている。	B(1)ア(ア)(イ)
	○ いろいろな形をつくることを通して、基本的な平面図形の特徴を理解している。	B(1)ア(ア)(イ)
思・判・表	○ 色板の移動について、ずらす、回す、裏返すなどの動かし方を説明している。	B(1)イ(ア)
	○ 形を構成する活動を通して、基本的な平面図形の見方を深めている。	B(1)イ(ア)
主体的に学習に取り組む態度	○ 色板や数え棒を使ったり、点と点を線でつないだりする図形の構成活動を通して、基本的な平面図形の見方を深めている。	

【関連する既習内容】

学年	内容
1	年 かたちあそび
	年

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	数学的活動
かたちづくり①	1	○ 色板を使って、いろいろな形をつくり、つくった形や気づいたことを発表する。	(1)ア
かたちづくり②	1	○ 4枚の色板で指定された形をつくる。	(1)ア
		○ 色板の移動について、ずらす、回すなどの操作を通して、図形の構成、分解を確認する。	(1)ア
かたちづくり③	1	○ 決められた枚数の色板を並べて、いろいろな図形をつくる活動を通して、図形の特徴についての理解を深める。	(1)ア
かたちづくり④	1	○ 数え棒を使って、いろいろな形をつくり、つくった形や使った本数を発表する。	(1)ア
かたちづくり⑤	1	○ 点と点を線でつないでいろいろな形をつくり、基本的な平面図形についての見方を深める。	(1)ア